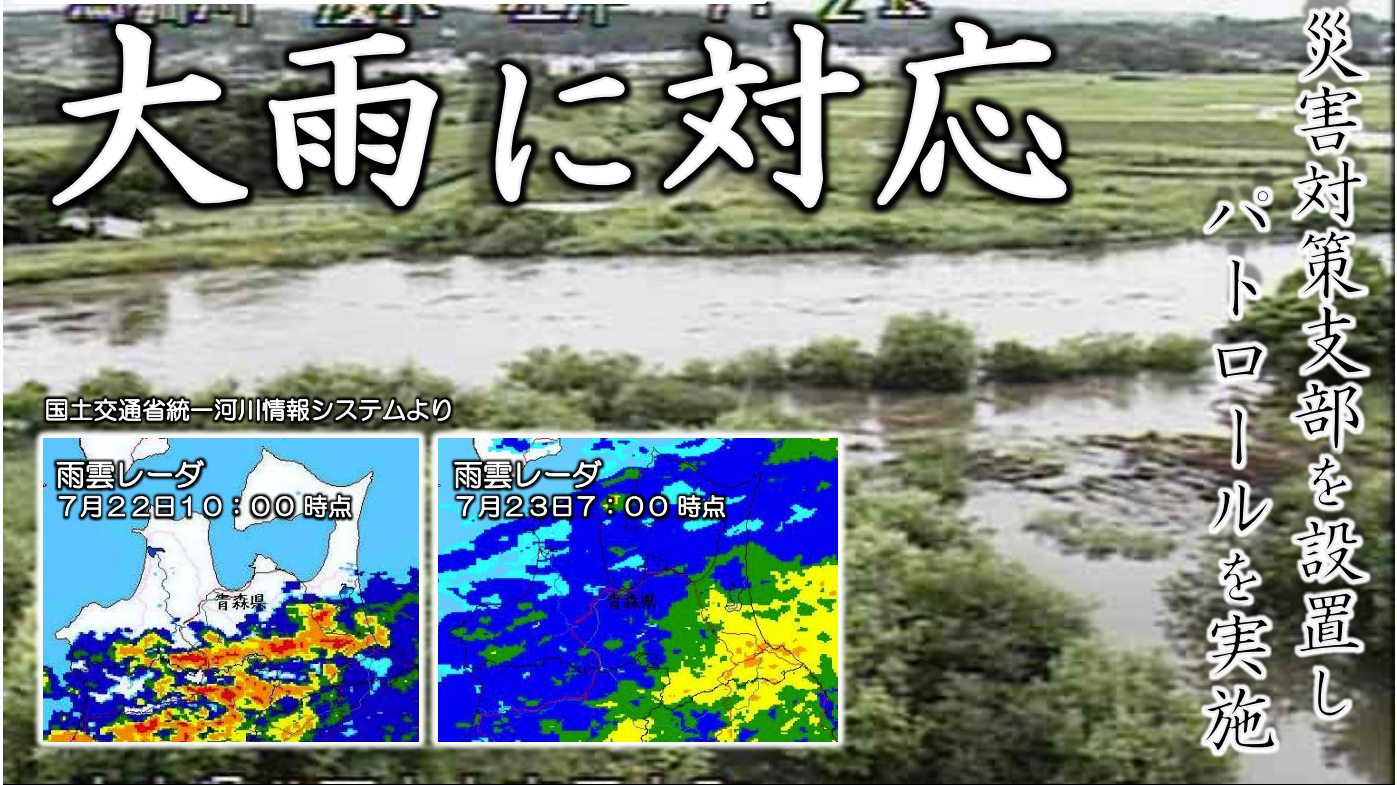
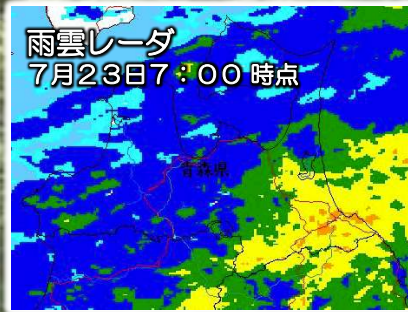
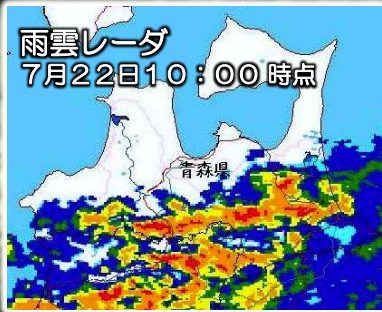




7月22日・23日



国土交通省統一河川情報システムより



災害対策支部を設置し
パトロールを実施

■7月22日から23日にかけて県内では梅雨前線が活発化した影響により、五所川原市金木町(588世帯1,345人)と三戸町(177世帯391人)に避難勧告が発令されるなど、各地で大雨に見舞われました。 ※写真は7月23日15:30時点 馬淵川浅水左岸7.2k地点の様子

■碓ヶ関で1時間に35mmの雨を観測(22日)

当事務所管内でも22日に国道7号碓ヶ関(平川市)観測所で11時からの1時間雨量が35mm、15時までの連続雨量が104mmとなったため道路災害対策支部「注意体制」を設置し、道路パトロールを行い安全を確認しました。(17時25分に体制は解除)

■馬淵川で水防団待機水位を超過、自治体支援にも備え(23日)

翌23日にも国道104号上野(八戸市)観測所で連続雨量が83mmを観測、馬淵川の櫛引橋水位観測所では水防団待機水位(3.00m)を越えたため(ピーク水位は17時に3.65mを観測)、道路・河川でそれぞれ災害対策支部(注意体制)を設置し、パトロールを行い状況の確認を行いました。

また自治体からの支援要請に迅速に対応できるよう被害等の情報収集を行い、そのうち八戸市から要請を受けて馬淵川長苗代第二排水樋管に排水ポンプ車と照明車を設置し被害の拡大防止に備えました。(稼働は無し)

なお、パトロールにより異常は確認されなかったことなどから、23日16時に道路、18時40分に河川の注意体制をそれぞれ解除しています。



▲7月25日9:30時点馬淵川浅水左岸7.2k地点の様子

まもなく8月を迎え、台風シーズンも本格化します、急激な天候の変化にも充分注意するようお願いいたします。

■防災情報をチェック!

[クリック▶ 河川防災情報ポータルサイト](#)

[クリック▶ 道路情報ポータルサイト](#)